

関西圏の歯科衛生士養成校代表として業界セミナーに登壇！現在のコロナ禍における学生の学習環境並びに就職状況の動向についてお話をしてきました。

歯科衛生士の求人・転職の専用サイトを運営する株式会社クオキャリア主催の「人事採用についての業界セミナー」が9月27日グランフロント大阪ナレッジキャピタルカンファレンスルームにて、「with コロナ、歯科衛生士学校・学生のここまでとこれから～就職をめぐる～」というテーマで開催されました。歯科衛生士養成校の代表として当学科の就職委員長八木孝和ならびに副委員長の上原弘美が登壇いたしました。

本セミナーには、大阪を中心とした関西圏で社会保険完備の歯科医院を営む理事長・院長・事務長の方々から約11名がご参加され、他の養成校1校の教職員と共にパネルディスカッション形式でおおよそ75分間行われました。

主な質問は、本校の紹介とともに、テーマに沿って「新型コロナウイルスの感染拡大を受けての対応」「コロナ禍における学生の心理と就職活動の行動変容」「就職指導のニューノーマル」などでした。未曾有の事態に直面し、本校では、従来から実施している学生とのポータルサイトをフルに活用し、学習面だけでなく就職情報に関してもオンラインを用いた対策を講じてきました。可能な限り、対面と同じクオリティを提供することをモットーに遠隔授業に対応するとともに、実習・演習についても感染対策を講じた上での少人数体制で行ってきました。また、就職活動に対する取り組みもより例年より積極的に対応するようになってきました。この活動を通じて、オンラインの活用の仕方次第では、今まで以上の学習成果を出せることもあるのではないかと考えています。

本学科として、現状のコロナ禍を受けて、オンラインを用いた対策を通じて感じることは、周囲とのコミュニケーションがとりにくい中で、学生の就職に対する意識と行動が例年に比べ、より「自分自身の事、自分の中の歯科衛生士という職業」として捉えて、早期から行動をしているように思えることです。八木からは、本校のこうした受け止め方について説明しました。

また、上原からは歯科医院の先生方に、求人医院へ本学の学生に対する理解と新人教育の充実、歯科衛生士と歯科助手の明確化などを説明いたしました。

就職委員長として、歯科医院の先生方に対する学校の要望などをお伝えする機会は、特に今年度においては業界の方々と接する機会が少ない中、こうしたセミナーを通じてお話しをさせて頂けたことに感謝いたします。また今後の学生指導に役立つ情報なども共有させて頂きました。

こうした社会状況下の中だからこそ、学生と教職員との信頼関係の重要性ならびに、世の中の変化に柔軟に対応しながら、業界全体で歯科衛生士を育むことこそが強く求められると感じるよい機会にもなりました。（執筆：八木）

